



各学年の重点目標

第一・二学年	・学校図書館に親しみ、利用の仕方の基本的な知識・技能・態度を培い、喜んで資料の活用ができる。 ・優しい読み物に興味をもち、楽しんで読書をしようという態度を育てる。	第二・四学年	・進んで学校図書館を利用する態度を培い、楽しく資料や情報を集め、活用できるようとする。 ・目的に応じて、色々な読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。	第五・六学年	・積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用できるようとする。 ・目的に応じて、複数の本や文章から適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。
--------	--	--------	--	--------	---

具体的な取組

〔各教科〕

- 各教科の目標を達成する中で、課題解決学習等の学習の場・総合的な学習の場としての学校図書館の意義を踏まえ、積極的・計画的に図書館学習を取り入れる。
- 教科学習の中での図書館学習を通して、情報や知識を検索・収集・処理する能力を養い、基礎的な技術を養うとともに自ら学ぶ力を育成する。

〔特別活動〕

- 学級活動を通して、学校図書館の利用や情報の適切な活用を身につける。
- 読書月間を年2回行い、目的に応じた読書方法や主体的な読書の態度を身につける。

〔読書科〕

- 朝読書等を通じて読書に親しみ、読書の習慣化を図る。
- 「アニメーション」「ブックトーク」「読み聞かせ」等による読書の推進、意欲の向上を図る。

〔総合的な学習の時間〕

- 課題の探求・解決に資料を活用し、多様な方法で取り組むことで、情報活用能力を伸ばす。
- 課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめなどの場面で資料を活用し、学ぶ力を育てる。

〔特別の教科 道徳〕

- 様々な資料を通して、自分の考え方と違う考え方を尊重したり、自主的に判断したりする力を育てる。

〔家庭・地域との連携〕

- 学級への呼びかけや、「本となかよし」等を通じて家庭における読書の習慣化を図る。
- 読み聞かせ・整備ボランティアの連携と活用を図る。